

## 令和7年度経営情報学会東海支部『学生・若手研究交流発表会』

東海支部運営委員 後藤謙太郎（ごとう けんたろう）  
静岡大学情報学部

### 1. 概要

令和7年度経営情報学会東海支部主催の「学生・若手研究交流発表会」（以下、本交流発表会）が、2025年9月16日（火）、静岡大学浜松キャンパスにおいて対面で開催された。

本交流発表会は、経営情報分野に関連する研究を行う学部生、修士課程・博士課程に在籍する大学院生、さらに若手研究者を対象として実施されたものである。発表者には、卒業研究を含む研究構想、企業・自治体・地域社会との連携プロジェクトを含む研究成果の発表機会が提供された。本交流発表会の主目的は、発表および質疑応答を通じて研究内容を発展させることにあり、参加者間の相互交流を促進し、学術的・実践的視点の双方から研究の質を高めることを意図している。そのため、ある程度完成した研究だけではなく、構想段階のものや中間報告的な内容も歓迎している。

### 2. 本交流発表会について

本交流発表会では、研究構想発表（発表：3分、質疑応答：10分）、研究発表（発表：15分、質疑応答：10分）といった2形式により実施された。発表件数は、研究構想発表が23件、研究発表が7件であった。午前中には研究構想発表が行われ（写真1, 2）、午後には研究発表が実施された（写真3）。



写真1 研究構想発表の会場1の様子



写真2 研究構想発表の会場2の様子



写真3 研究発表の様子

本稿では、午後に実施された研究発表を中心に報告を行う。当該セッションには、西は香川大学大学院から、東は東京科学大学まで幅広い地域からの発表が集まった。午後の研究発表においては、表1に示す通りの発表が行われた。

表1 研究発表の発表者氏名、所属、タイトル

発表者（所属）	タイトル
Laila Diana Khulyati, 永吉実武 （静岡大学）	Collaborative Learning Dynamics・Understanding the Complex Roles of Preparation in Online and Face-to-Face Group Discussions
嬉野加奈, 佐藤勝典 （香川大学大学院）	学校と地域の連携によるソーシャル・キャピタルの醸成
工藤慣太, 遊橋裕泰 （静岡大学大学院）	企業のDX化に向けた経営ケース教材の制作と実践
1. 小川輝, 2. 大谷順司, 1. 後藤美香 （1. 東京科学大学環境・社会理工学院, 2. 三菱電機株式会社）	Malmquist生産性指数を用いた日本の製造業企業における環境イニシアチブ参加の影響分析
森峻馬, 池野誉, 加藤千嵯, 満田真之介, 峯重奏斗, 加瀬裕貴, 永吉実武 （静岡大学）	高速道路を利用するプロドライバーの商業施設への効果的な誘引施策
西川絹恵, 向日恒喜 （中京大学）	職場における居心地の良い場の再検討
1. 久野楽人, 1. 後藤謙太郎, 1. 2. 遠藤正之 （1. 静岡大学, 2. 慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所）	地方銀行DXの設計比較——四行IR比較の結果とCORE-OQによるレベル別分析設計

### 3. 表彰について

本交流発表会においては、研究発表を対象として審査を実施し、最優秀賞、優秀賞、特別賞を授与した。その結果は、次の通りである（表2～4）。

表2 最優秀賞

発表者（所属）	タイトル
1. 小川輝, 2. 大谷順司, 1. 後藤美香 （1. 東京科学大学環境・社会理工学院, 2. 三菱電機株式会社）	Malmquist生産性指数を用いた日本の製造業企業における環境イニシアチブ参加の影響分析



写真4 最優秀賞の受賞者

表3 優秀賞

発表者（所属）	タイトル
Laila Diana Khulyati, 永吉実武 （静岡大学）	Collaborative Learning Dynamics・Understanding the Complex Roles of Preparation in Online and Face-to-Face Group Discussions



写真5 優秀賞の受賞者たち

表4 特別賞

発表者（所属）	タイトル
森峻馬, 池野誉, 加藤千嵯, 満田真之介, 峯重奏斗, 加瀬裕貴, 永吉実武 （静岡大学）	高速道路を利用するプロドライバーの商業施設への効果的な誘引施策



写真6 特別賞の受賞者たち

受賞者には、賞状と副賞が授与された。

#### 4. 閉会式について

閉会式では、表彰式、審査員からのご講評、終わりのご挨拶が行われた。

審査員からのご講評として、増田靖先生（光産業創成大学院大学）、山下浩一先生（常葉大学）より、研究発表を対象に、学生・若手研究に向けた理論的枠組みの理解、説明の向上、および研究への取り組みに関する貴重な指摘をいただいた。

終わりのご挨拶として、伊東暁人先生（静岡大学）、永吉実武先生（静岡大学）、ならびに東海支部長の向日恒喜先生（中京大学）より総評が述べられ

た。特に東海支部長からは、「学生時代に学会の研究発表の場に触れることは貴重な機会であり、ここで受けた刺激をこれからの研究に生かしていただきたい」との激励の講評があった（写真7）。



写真7 東海支部長 向日恒喜先生の閉会挨拶

以上をもって全プログラムを終了した。最後までご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げる。発表会終了後には懇親会も実施され、発表者・参加者・関係者の労をねぎらうとともに交流を深める機会となった。

本交流発表会は、経営情報学会の研究活動の一環として開催しており、次年度も引き続き実施予定である。次年度においても、全国からの積極的な発表を期待する。